



『算数のお勉強です!』 ~お家ごっこと学校ごっこ~

ソフト積み木でお家ごっこが続いていた今週。教師は子ども役(小学生)として混ざっていた。ソフト積み木での家づくりから、料理や洗濯などの生活のままごと一通り遊んだこともあり、少し変化をつけようと思い、「学校に行ってくるね!」と学校に行く振りをすると、「キーンコーンコーン お勉強の時間です」と学校ごっこに発展する。



お家ができたよ!

「じゃあ 学校に行ってくるね! 行ってきます!」と学校に行く。お家を作った場から少し離れたところにテーブルを出す。ノートとペンを出して、座る。



算数のお勉強です。
1+2は、なんででしょう!

数字を使って足し算の式を書くとともに、数字の上にリンゴも描き、「合わせて何個かな?」と正しく足し算を遊びの中で生かせるように書く。



ぼくは新幹線を描く!



どうやって書くの?



はなまるです!



ぼくもノートほしい!
に、たす、さん…
こうやって書くの?



〇 _____は、家庭で見たり聞いたりしている言葉を使って、先生役になりきっていた。文字を書けるようになってきた_____は興味深く見ていたり、_____は刺激を受け、真似に_____は好きな新幹線を描いて、はなまるをもらい喜んでた。それぞれの経験を基に、遊びの中で自然と文字や数字、学校のイメージに触れる機会となった。学びの芽生えと感じた。

【育ちの芽生え】

- ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ⑤社会生活との関わり
- ⑨言葉による伝え合い